

品目：ゆり

環境こだわり農産物の基準(5割以下の基準)

化学合成農薬(延べ使用成分数)

化学肥料(窒素分量)

6成分以下

2kg/10a 以内

技術体系例 ゆり

生育ステージ	作付前		定植	生育期間中											
防除時期	作付体系	7~8月	定植時	全般						生育初期	生育中期		生育後期		
防除方法・使用資材・薬剤名等	ほ場ローテーション	太陽熱消毒	殺虫剤	マルチ	補殺	病害株の引き抜き	室内循環線	黄色灯	黄色・青色粘着板	防虫ネット	殺菌剤	殺虫剤	殺菌剤	殺虫剤	殺菌剤
葉枯病							★				●		●		●
軟腐病						★									
茎腐病						★							●		
ネダニ	★		●												
アブラムシ類				★					★	★		●			
アザミウマ類				★					★	★					
ヨトウムシ類		★			★			★		★					●
オオタバコガ		★			★			★		★					●
(例)使用農薬			ジメトエート粒剤								ダコニール1000	ジェイエース水溶剤	トップジンM水和剤	アフアーム乳剤	ポリオキシシリンAL水溶剤
			1								1	1	1	1	1

注) ●: 薬剤防除対象病害虫、★: 天然資材または耕種的手法

農薬の登録は随時変更があるので、農薬の使用にあたっては、必ず農薬ラベルを確認し適正に使用する。

※印のものは、登録の対象害虫等が限られているので登録を確認する。

ほ場周辺は除草剤を使用せず、草刈機による管理またはグランドカバープランツを植栽する。

病気 **葉枯病** (はがれびょう)

発生しやすい時期

7～9月頃

原因 (発生要因)

- ・ 発病した葉から飛んでうつります。
- ・ 多湿条件で発生しやすくなります。



葉枯病

対策 (減農薬技術)

- ・ 多湿条件で発生が多くなるので、ほ場に水がたまらないよう排水対策をとりましょう。またハウスでは、換気を十分にしてください。
- ・ 発病した葉は早めに取り除き、ほ場外へ持ち出しましょう。

害虫 **アブラムシ類**

→きくの項を参照